

不自然な食の時代がやってきた!?

生命操作されたコメ、トマト、マダイ、ウナギ、タマゴなどなど



いま、最先端の科学技術で遺伝子を操作して作り出された「ゲノム編集」のトマトやマダイ、フグ、ヒラメなどの流通が始まっています。しかし、ゲノム編集食品の安全性の確認はされておらず、表示もありません。また「細胞培養性食品」のガイドライン作成が消費者庁で行われていて、培養肉や培養ウナギなどの流通も始まろうとしています。このような生命操作された食品とは、どのようなものでしょうか。これから食の安全をどう守るのか、いっしょに考えましょう。

日時:2025年11月29日(土)
14:00~16:30

場所:ウイルあいち セミナールーム1・2
名古屋市東区上豊杉町1番地
地下鉄「名古屋城」駅 2番出口から東へ徒歩約8分
名鉄瀬戸線「東大手」駅から南へ徒歩約6分

資料代: 1,000円

※予約不要・直接会場にお越しください。

《プログラム》

- 13:40 開場(受付開始)
- 14:00 開会
- 14:10 基調講演「食の安全をどう守るのか?」
講師:河田昌東さん(遺伝子操作食品を考える中部の会 代表)
- 15:10 質疑応答
- 15:50 遺伝子組換えナタネ抜取り隊について
石川豊久 (遺伝子操作食品を考える中部の会)
- 16:10 遺伝子操作食品を考える中部の会の活動紹介
- 16:30 閉会



後援:名古屋市教育委員会

主催 遺伝子操作食品を考える中部の会

〒465-0078

名古屋市名東区にじが丘-16-2-202

T E L:090-8471-1072(原野)

E-mail:office-chubu@anti-gm.sakura.ne.jp